

| | |
|------------------------|---|
| 仮の宿となす ルカ 2:1-7 | 2022. 12. 25、丘の上 NO. 692 春日部福音自由教会 山田豊 |
|------------------------|---|

主イエス・キリストのご降誕祭、おめでとうございます。

生まれたばかりの幼子イエスが、ベツレヘムにある家畜小屋の飼い葉おけに寝かされていたことは、ご存じのとおりです。この個所からの説教を聞かれたり、黙想したりすることも多かったと思います。

2022年という年はどのような年であったのか、また、この時代を象徴するどのようなことがあったのかと思うと、皆さんの思いの中には、いろいろなことが浮かんでくることと思います。

よく、「人生は旅、人は旅人、今いるところは仮の宿」と言われます。それは聖書が語っているとおりであり、旧約聖書に登場する族長たちは、文字通り旅する人たちでした。著名なある老師のお話に「この世に生まれてきたのは、仮の宿にとどまっているようなものだ」という言葉がありました。まるで、新聖歌 87 番の歌詞を知っているのかなと思わせるようなお話で、本日の説教題にしてしまうくらいのインパクトでした。

確かに人の生涯は、ヤコブが書いたように「しばらくの間現れて、それで消えてしまう霧」のようなものです。何よりも、人として来られたイエスご自身が「狐には穴があり、空の鳥には巣がある。だが、人の子には枕する所もない。」と言われるほどでした。

現代人の不幸は、目に見えるものにこだわり、自分の欲している物質的なものを手に入れない限り不幸であるという妄想にとらわれていることです。無意識のうちに、そのような思考で行動してしまっていることもあります。現在大人気を博して上映されている映画、「アバター2」もそういった人間の愚かさに警告を与えているように思います。

しかし、イエスは、地上の生涯を終えて葬られた後、よみがえられました。まったく新しいからだに変えられ、今は神の右の座についておられるのです。これは、私たちもそのように変えられるという希望であり、肉のからだを脱ぎ捨て、イエスに似た新しいものとされるのです(1 コリント 15:43)。

生まれたばかりの赤ちゃんがベッドに寝かされ、自分と似ているなあと思ひながらその顔を見ている親は、きっと喜びに満たされていることでしょう。そのベッドには、親の豊かな愛があるからです。飼い葉おけは、確かに仮の宿でしたが、そこに神の愛がぎっしりと詰まっているのです。

この地上でどんな人生を送っていても、あなたの今いるところに神様の愛がとどまっている、それが降誕祭の喜びなのです。

引用聖句

マタイ 8:20 イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。だが、人の子には枕する所もない。」

1 コリント 15:40-44 40 また、天上のからだもあり、地上のからだもあり、天上のからだの輝きと地上のからだの輝きは異なり、41 太陽の輝き、月の輝き、星の輝き、それぞれ違います。星と星の間でも輝きが違います。42 死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものによみがえらされ、43 卑しいもので蒔かれ、栄光あるものによみがえらされ、弱いもので蒔かれ、力あるものによみがえらされ、44 血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだによみがえらされるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもあるのです。

1 ペテロ 2:11 愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは旅人、寄留者なので、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。

ヤコブ 4:14 あなたがたには、明日のことは分かりません。あなたがたのいのちとは、どのようなものでしょうか。あなたがたは、しばらくの間現れて、それで消えてしまう霧です。

コロサイ 2:11 キリストにあって、あなたがたは人の手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨てて、キリストの割礼を受けたのです。

詩篇 2:1-5 1 なにゆえ、国々は騒ぎ立ち／人々はむなしく声をあげるのか。2 なにゆえ、地上の王は構え、支配者は結束して／主に逆らい、主の油注がれた方に逆らうのか 3「我らは、枷をはずし／縄を切って投げ捨てよう」と。4 天を王座とする方は笑い／主は彼らを嘲り 5 憤って、恐怖に落とし／怒って、彼らに宣言される。

新聖歌 87 番 1 節

入れまつる家あらず 休めまつる宿もあらず
ただむさき馬小屋を 仮の宿となしたもう